

5. その他（2016 年度）

1) 実験計画書の年間の承認件数

1. 動物実験計画申請数 16 件
2. 即時許可件数 3 件
3. 改定後許可した件数 13 件
4. 不許可・取下げ件数 0 件
5. 動物実験従事者数 172 名

2) 教育訓練の実績

実施月日	実施内容の概略	参加者数
2016. 4. 20 2016. 4. 26	・ 関連法令、ガイドラインについて ・ 動物実験及び施設管理の実際 ・ 動物飼育実験施設の利用方法 他	77 名
2017. 3. 8	・ 関連法令、基準及び規程について ・ 実験動物の取扱いについて ・ 遺伝子組換え体について 他	30 名

その他、年度途中の採用者、英語希望者等については、個別講習として別途 10 回実施済み

3) 動物実験委員会 * 当該年度 3 月 31 日の時点での委員の構成

（基本指針に示された 3 通りの役割^{注1} ごとの委員の所属部局及び専門分野）

動物実験等に関して優れた識見を有する者：教授 4 名

系統生物研究センター（専門：遺伝学）

系統生物研究センター（専門：発生遺伝学）

初期発生研究部門（専門：発生遺伝学）

脳機能研究部門（専門：神経発生学）

実験動物に関して優れた識見を有する者：准教授 1 名

系統生物研究センター（専門：行動遺伝学）

その他学識経験を有する者：准教授 1 名

構造遺伝学研究センター（専門：組織学）

その他学識経験を有する者：助教 1 名

発生遺伝研究部門（専門：発生生物学）

管理部職員：管理部職員 1 名

管理部・文系職員（動物実験委員会担当課長職）

技術課職員：技術課職員 2 名

技術課・理系職員

技術課・理系職員

その他所長が必要と認める者：所外委員 教授 1 名

所外国立大学（専門：発生生物学）

注¹ 基本指針に示された 3 通りの役割とは、文科省の基本指針に示された

- (1) 動物実験等に関して優れた識見を有する者、
- (2) 実験動物に関して優れた識見を有する者および
- (3) その他学識経験を有する者

の 3 区分を示す。